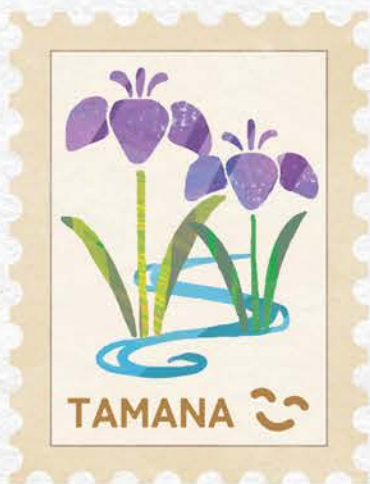




広報 たまな 特別号

た ま な し



笑顔(〜)宅配信



P2-3 市民生活の安定

・子育て・福祉・健康づくり

P4-6 まちづくりの充実

・賑わい創出・産業振興・都市基盤づくり

P7-8 行政運営の進化

・市民のための行財政運営・地域連携

裏表紙

LINEで「持ち運べる市役所」を実現!!

P9-11

特集

熊本連携中枢
都市圏加入

電子版はコチラ!



笑顔でつなぐ、たまなのこれから

令和5年度・令和6年度の 取組を紹介 します!!

市民生活の安定

子育て

桃田運動公園に 新遊具を設置

3 全てのの人に
健康と福祉を



令和6年4月から、桃田運動公園の芝生広場に新しい遊具を設置しました。今後も遊具の改修や集約を行うことで、子どもたちが元気に遊べる環境づくりに取り組み、子育てしやすいまちの実現へと繋げます。



待機児童数0を継続中

4 質の高い教育を
みんなに



令和5年、令和6年(基準日:4月1日)は、保育施設利用に対する待機児童数0を継続中です。これからも、保育施設と保育の質を確保し、子どもたちが健やかに育つための環境を整えていきます。



働くパパ・ママを応援
延長保育、一時預かり保育、病児・病後児保育など、多様な保育サービスを提供しています

給食費の 物価高騰支援

1 笑顔
を
なくそう



現在の給食費では、物価高騰により従来と同質の食材を購入することが難しくなっています。そこで、園児、児童、生徒の給食費が増額しないよう物価高騰分を公費で支援し、子育て世帯の負担を軽減しています。



産後ケア体制の 強化

3 全てのの人に
健康と福祉を



出産後の母子に対する心身のケアや育児のサポートなどを行う「産後ケア事業」に加えて、産後2週間の産婦に対する健康診査を実施しています。少子高齢化・人口減少が加速する中、健康で安心して子育てできる環境を整えています。



玉名市こども家庭 センターを設置

3 全てのの人に
健康と福祉を



すべての妊産婦・子ども・子育て世帯をサポートするため「母子保健」と「児童福祉」が一体となった「こども家庭センター」を女性・子ども相談室内に設置しました。妊娠、出産、育児、ご家庭やご自身の心配ごとの相談に応じ、関係機関などと連携して皆さんの子育てを応援します。



子育て

小学校統合

4 質の高い教育を
みんなに



子どものための教育環境整備を目的として、学校再編に取り組んでいます。大浜小学校と豊水小学校が令和7年度に統合し、「大豊小学校」が開校予定です。また、天水地区の玉水小学校と小天小学校が令和9年度に統合し、天水中学校と併設する「天水小学校(仮称)」が開校予定です。



New School



玉水・小天
大浜・豊水
ありがとう
月(一)

ICT教育の推進

4 質の高い教育を
みんなに



令和5年8月にソフトバンク株式会社と教育事業に関する連携協定を締結し、令和6年度からAIロボットを活用したプログラミング体験を市内すべての小中学校で実施しています。

また、令和5年度は玉水小学校、小天小学校と台湾の児童とのオンラインでの交流を行いました。さらに、タブレット端末による学習ドリルの導入など、ICT機器を活用した学習を行い、ICT教育の推進を通じて、児童、生徒の学習意欲を高め主体的に取り組むことができる環境づくりを目指しています。



Programming

わかりやすく！ 使いやすく！ 乗合タクシー

11 住み続けられる
まちづくりを



令和6年4月から乗合タクシー(おれんじ、いちご、しおかぜ、いだてん)を増便し運行時間を統一したことで、利用しやすくなりました。さらに、バス時刻表や公共交通マップを作成し、公共交通機関の利用促進を図っています。

福祉

健康づくり

骨髄バンク 事業の ドナー支援

3 全てのの人に
健康と福祉を



白血病などの重い血液の病気と診断され、骨髄バンクドナーからの移植を待つ人が多くいらっしゃいます。ドナーやドナーが勤務する事業所が骨髄バンク事業の応援に応えやすくなるよう、骨髄などの提供に係る休暇に対し助成金による支援を実施しています。



熱中症対策に 「クーリングシェルター」 の活用を

13 質の高い教育を
みんなに



近年、気候変動による気温の上昇で熱中症リスクが高くなっています。こまめに水分補給や日陰での休息をとりましょう。熱中症特別警戒アラートが発表されたときは大変危険な状況です。公共施設9か所をクーリングシェルターに指定しましたので、ぜひご利用ください。



いだてん・いちご マラソン開催!

3 全てのの人に
健康と福祉を



令和6年2月、県北唯一のフルマラソン大会となる「玉名いだてんマラソン2024」を開催しました。同日開催の横島いちごマラソン大会と合わせ、約4,500人がエントリー。玉名いだてんマラソンは2回目の開催でしたが、日本マラソンの父金栗四三のゆかりの地玉名で開催されるマラソン大会ということもあり、金栗四三の現役時の格好で走るランナーもいました。沿道の応援やコース近隣の住民のご協力により、参加者のアンケートでも満足度の高い大会となりました。



まちづくりの充実

賑わい創出

玉名市の魅力発信大使 (アンバサダー) 就任

玉名市出身で現在、ランニングアドバイザーや、100万人以上のフォロワーを持つインフルエンサーなど、幅広い分野で活躍されている三津家貴也さんが市の魅力発信大使(アンバサダー)に就任されました。三津家さんにはSNSや市の広告を通して玉名市の魅力を全国にアピールしてもらいます。



三津家 貴也さん
(ランニングアドバイザー)

第一回玉名市国際芸術祭開催!

日本台湾文化芸術交流会、玉名国際交流協会、玉名市の3者が共催し「第一回玉名市国際芸術祭」を開催しました。今回は、美術と音楽を交流のテーマとし、市役所1階市民ロビーで絵画展示会、市民会館大ホールでコンサートを開催しました。



Concert

台湾の嘉義市精忠小学校の児童が描いた絵画の展示や高雄市の小学生から大学生までの演奏者で構成される新希望楽団による弦楽の演奏が行われるなど、芸術を通じた国際交流の輪が育まれました。玉名市からは、玉名市少年少女合唱団、岱明町少年少女合唱団、光専寺土曜学校、専修大学熊本玉名高校(Ventures)が出演し、コンサート会場を盛り上げました!

Painting



台湾とマラソン交流

令和5年12月に台湾体育運動競技協会と台湾に親会社がある市内企業の日本水神株式会社と市が交流連携協定を結びました。協会が主催する台湾のマラソン大会と玉名市で開催される「玉名いだてんマラソン」「横島いちごマラソン大会」などの大会にお互いの地域の選手が参加し、マラソンを通して交流を深めています。



産業振興

海苔養殖被害に 対して生産者を支援

令和5年1月の暴風雪により被害を受けた海苔養殖生産者に対し、破損資材の処分と養殖資材の購入補助について、支援を実施しました。それにより、養殖規模は被害前とほぼ同程度にまで回復しています。そして、今年も生産者の努力により日本を代表する「有明海苔」が全国に出荷されました。



被害直後



復旧後

産業団地の現状

令和5年度に分譲を開始した三ツ川産業団地は、現在、9区画のうち6区画について分譲・予約をいただいています。官民連携で進めるこの産業団地が、玉名の新たな活力を創り出します。



人・農地プランから地域計画へ

農業者の減少や高齢化による耕作放棄地の拡大を防ぐため、大切な農地を将来にわたって子や孫の世代に引き継ぐ「地域計画」を作成しています。これまでの「人・農地プラン」を土台として、地域の皆さんの話し合いを経て、令和7年3月までに「地域計画」を策定します。



Current Situation /



企業の進出・増設

令和5年度以降、新たに7件の進出や増設に関する協定を締結しました。このことで、140名を超える新規雇用が見込まれています。TSMC進出の影響もあり、熊本県への企業進出件数は3年連続で過去最多となる中、その流れに玉名も乗り、企業の誘致に取り組んでいます。



誘致企業の一部を紹介

カンケンテクノ株式会社熊本工場(写真左、本社:京都府)は、半導体の製造過程で発生する排ガスを処理する機械装置メーカーです。

地域連携

「Satellite Office」
仕事に、勉強に、交流に
「サテライトオフィス」

働きがいも
経済成長も



国の交付金を活用したサテライトオフィスが玉名駅前と天水地区に完成しました。県外・市外から新たな企業・人の流れをつくり、雇用の拡大、市内外企業の連携、イノベーション創出等の拠点となります。テレワークなどの多様な働き方や学生の勉強、地域の交流などにもご活用いただけます。



市民生活の安定

まちづくりの充実

行政運営の進化

「Town Planning」

学生・若者の想いをカタチに！
～玉名未来づくり研究所、玉名未来トーク～

11 住み続けられるまちづくりを



玉名に住れたい、住み続けたい、私たちが帰ってきたい玉名を創る

今年で5年目を迎える「玉名未来づくり研究所」では、市内の若者（10～29歳）が中心となって、若者が描く「理想の玉名の未来」について研究しています。自らが、今何ができるかを考え、実行に移すことで、理想とする玉名の将来像に近づけようと頑張っています。昨年は、「まちにワクワクする場所を創ろう」をテーマに研究・発表しました。

また、令和6年1月には、市内の高校や大学の学生が、総合的な探求の時間や研究などについて発表する「玉名未来トーク」を開催しました。参加した学生は、他校の様々な活動、研究に刺激を受けていました。

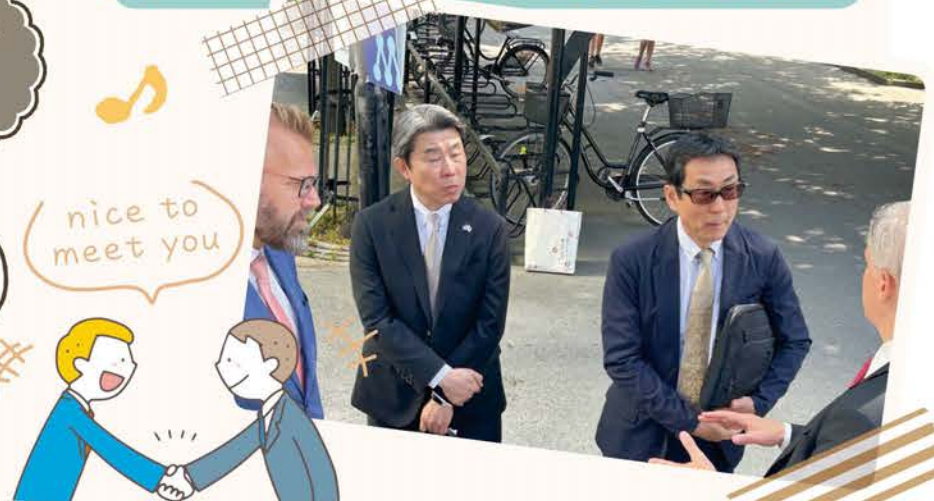


International Exchange
国際交流
アドバイザー就任

17 パートナシップで
目標を達成しよう



玉名市出身で
アンゴラ共和国、北マケドニア
共和国の日本大使を歴任された
澤田洋典さん（元外交官）と
国際交流アドバイザーとして
連携協定を締結しました。
外交官時代に培われた国際的な
専門的見地から国際交流や
観光、地域振興について助言
いただき、強化を図ります。



特集

熊本連携中枢都市圏

加入

玉名市は令和5年10月に熊本市と
「熊本連携中枢都市圏形成連携協約」を締結しました。

連携中枢都市圏とは人口減少・少子高齢社会にあっても、経済を活性化し
地域を持続可能なものとし、住民が安心して快適に暮らしていけるよう
連携中枢都市と近隣市町村が連携してさまざまな取り組みを実施するものです。

構成市町村

連携中枢都市 熊本市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、宇城市、
阿蘇市、合志市、美里町、玉東町、大津町、菊陽町、高森町、西原村、
南阿蘇村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町

熊本市と玉名市における
熊本連携中枢都市圏形成連携協約 締結式



1

メリット

熊本連携中枢都市圏は、中心都市である熊本市が近隣自治体と連携し、事業のコンパクト化とネットワーク化を図ることで、スケールメリットを活かした新たな事業に取り組みます。その効果を市民に還元し、また、取り組みに従事した市職員の知見やノウハウの蓄積、他自治体とのつながりができることで、更なる既存事業の深化や新たな事業の創出が期待されます。

	構成市町村	人口	面積
熊本連携中枢都市圏	20	1,268,400人	3,290.37km ²
熊本県全体	45	1,707,747人	7,409.18km ²
圏域／熊本県(%)	44.4%	74.3%	44.4%

※人口は熊本県推計人口調査
（令和5年10月1日時点）より
※面積は全国都道府県市区
町村別面積調（令和5年10月
1日時点）より



2

目指す姿

圏域市町村がそれぞれの個性と特性に磨きをかけ、
魅力を高め、ひとつとなって大きな力となり、
九州中央の交流拠点を目指していく。

3

取り組み

連携協約に
基づき、
次の3つの分野に
取り組みます

1 圏域全体の
経済成長のけん引
（主に熊本市が
連携中枢都市として実施）
圏域内の多様な資源・企業・
人材を動員することで成長の
エンジンとなり、地方の経済を
けん引します。

2 高次の都市機能の
集積・強化
（主に熊本市が連携中枢都市として実施）
圏域全体に対して高度で
専門的なサービスを提供し、
人材を集め住みたくなるような
環境を作ります。

3 圏域全体の生活関連
機能サービスの向上
（20市町村で連携して実施）
近隣市町村と連携することで、
圏域全体の利便性を向上し、
圏域内の住民のニーズに
応えます。

4 熊本連携中枢都市圏における本市の主な具体的な取り組み

1 健康ポイント事業

市民の皆さんが「歩く」など日々の健康づくり活動や健康診断の受診などに、楽しみながら、継続的に取り組み、健康管理や生活習慣の改善につながるよう熊本健康アプリ「もっと健康!げんき!アップくまもと」を運用しています。

アプリには、歩数に応じたポイント付与、健診や健康イベントでのポイント付与があり、豪華賞品への応募ができます。協力店での来店サービスもあります。健康セルフチェックなど日常生活にご活用ください!

歩数に応じたポイント

検診や健康イベントでのポイント

豪華賞品に応募!

熊本健康アプリ
もっと健康!
げんき!アップ
くまもと



アプリは
こちらから



2 図書館における圏域住民の相互利用

本市と熊本市では、双方の住民が図書館を相互に利用できるようになりました。熊本市の図書カードを作成することで、玉名市民も熊本市の図書館の本が借りれます。

返却については、熊本市内のすべての市立図書館で返却可能です。(※玉名市内の図書館での返却はできません)

利用できるようになった図書館の詳細は、以下の2次元コードからご確認ください。



3 地球温暖化対策の共同推進

2050年カーボンニュートラルに向け参加自治体がそれぞれ独自の取組を行うとともに、地方紙等を活用した広報・啓発などを行っています。

本市は、令和8年度から改定となる新たな計画から本格的に参加することとなりますが、計画目標達成に向け、圏域20自治体で協力し、温室効果ガスの削減を図っていきます。



4 くまもと都市圏合同就職説明会

人材を必要とする連携中枢都市圏企業と求職者の出会いの場として、合同就職説明会を定期的に開催します。移住・定住による「雇用の安定」を図り、圏域全体の「経済活性化」を促進します。令和6年度は、対面型の合同就職説明会を年間5回開催予定です。

移住・定住により、人手不足による産業停滞の解消と産業の成長に資する高度人材の確保及び生産年齢人口の増加による経済の活性化が期待され、求職者の早期就職が図られます。



5 移住プロモーション

自治体の魅力や移住情報を集約した、連携中枢都市圏移住パンフレットを作成・リニューアルし、窓口や移住相談会などの移住促進イベント時に活用することで、関係自治体が連携して移住者獲得に向けたプロモーションを実施します。



企業と出会う
チャンス!

6 くまもと都市圏インターンシップ

圏域への人材還流促進及び人材定着のため、県内外の大学1~3年生をメインターゲットとし圏域企業へのインターンシップを実施します。

大学生等に入学当初から圏域企業を知ってもらうことで、将来における圏域経済の担い手確保の促進を図るとともに、人手不足による産業停滞の解消と産業の成長に資する高度人材の確保、及び生産年齢人口の増加による経済の活性化を目指します。



5 玉名市の取組一覧(全56事業)

※協議が整い次第、順次実施してまいります。

紹介した取り組みの他にも全56事業を展開予定です。



分野	項目	具体的取組
圏域全体の経済成長のけん引	①リーディング産業の育成	●産学連携支援事業 ●医療・介護・健康サービス産業支援 ●技術力向上支援 ●SDGsパートナー事業
	②6次産業化及び農商工連携の推進	●食の販路拡大・プロモーション事業(国内における販路拡大事業) ●食の販路拡大・プロモーション事業(海外における販路拡大事業)
	③物流機能の強化	●熊本港利用促進
高次の都市機能の集積・強化	①高度な医療サービスの提供	●熊本市市民病院における総合周産期母子医療センター ●がんサポートセンター
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	①職員の育成	●職員の派遣及び人事交流の実施 ●選択研修、法務研修等の圏域職員の参加 ●熊本市主催講演会の圏域職員の参加
	②機関等の共同設置	●行政不服審査の審査請求に係る第三者機関の共同設置

玉名市は、SDGs(持続可能な開発目標)に
* 取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





「持ち運べる市役所」を実現!!

玉名市LINE公式アカウントを活用して、いつでもどこからでもさまざまな行政手続きや情報収集などが可能となる「持ち運べる市役所」の実現に向けた取り組みを進めています。ここでは、今お使いいただける機能、そして今後追加予定の機能についてお知らせします。

上下水道料金などの口座振替日のお知らせ

LINEが自動通知

支払い忘れの心配がないよう、上下水道料金などの口座振替日・再振替日をLINEでお知らせします。

料金等の種類

- ・上下水道料金
- ・農業集落排水処理施設使用料
- ・公共浄化槽使用料 (天水地区)

市税・保険税の納期のお知らせ

LINEが自動通知

支払い忘れの心配がないよう、市税・保険税の納期・納期限をLINEでお知らせします。

献立表・食育だよりの配信

LINEでお知らせします

市立小学校・市立中学校で提供される給食に関する情報をLINEでお知らせします。毎月の「献立表」や「食育だよりのほか、月に数回「給食写真」も配信します。

母子健康手帳交付の予約

LINEで24時間、簡単予約

毎週金曜日(祝日除く)に交付の母子健康手帳もLINEのメニューからすぐに予約可能です。

希望する予約枠をカレンダーから選択。予約の空き状況も分かります

健診時期などのお知らせ

LINEが自動通知

お子さまの生年月日を登録いただくと、時期に応じた健診などの情報をお知らせします(最大10人まで登録可能)。お知らせする情報は今後増える予定です!

※通知のタイミングはお知らせする情報により異なります

スポット検索機能

施設や観光スポットなどを検索できます

スマホのGPSを活用し、指定された位置情報から半径4.5km以内にあるスポット情報を紹介します。近所の公園や公衆トイレなど、ネット検索ではヒットしないお役立ちスポット情報も発信中です。

乗合タクシーの利用登録

LINEで簡単申請

乗合タクシーの利用登録もLINEでも可能になりました! 初回利用日の1週間前までに手続きしてください。

LINE電子申請サービス

役所の窓口手続きがLINEで完結 来庁不要! LINEで24時間365日、簡単申請

「住民票の写し」「戸籍」「税証明書」など、証明書の発行の行政手続きを市役所へ行くことなく、LINEを利用して簡単かつスピーディーに行うことができます。

※今後も対象手続きを拡大予定です! ますます利便性が高まります!!

ごみの分別検索

ごみの分別方法をLINEが自動回答

「ごみの分別」に迷ったら、そんなときこそLINEで検索。トーク画面を開いてごみの名前を入力するだけで、LINEがごみの分別方法を自動回答してくれます。

ごみ収集日のお知らせ

ごみ出しをLINEで便利に

住んでいる地域と、ごみの種類に応じて、ごみ収集日の通知を受け取れます。

友だち登録はこちらから



@tamanacity

登録方法 1

上記の2次元コードをスマートフォンのカメラから読み取り、登録してください。

登録方法 2

LINEアプリを起動して「玉名市」または「@tamanacity」を検索。

玉名市LINE公式アカウントを選択し「追加ボタン」を押して追加できます。

本アプリ使用におけるデータ通信料は、利用者の負担となります。また、アプリ使用によるトラブルについて、玉名市は一切の責任を負いません。

ご意見をお待ちしています。

市政や広報たまな特別号に関するご意見、ご質問を受け付けています。ご意見等ございましたら、以下のメールアドレスへメールをいただくか、封書で秘書課宛にお送りください。いただいたご意見等につきましては、市ホームページ上での回答も検討しています。※全てのご意見等にご回答するものではありません。